

## 島のみなとまちづくり大島岡田港「汐風プロムナード」

東京都港湾局離島港湾部  
 東京都港湾局港湾整備部  
 東京都港湾局東京港建設事務所  
 東京都大島支庁

### 事業の概要

東京都では、島の個性を活かした観光立島による島嶼振興を目指し、魅力ある『島のみなとまちづくり』事業を立ち上げ、島の玄関口である港や空港の施設を最大限に活用して、観光を支える快適空間を創り出すこととしている。

このたび、伊豆諸島で観光客が最も多い大島の岡田港に整備された『汐風プロムナード』は、『島のみなとまちづくり』事業のリーディングケースとして、荒天時などに船客の利便性、快適性を高める施設として、島嶼で初めて建設された。

### 施設概要

- 箇所：伊豆大島岡田港（通路施設）
- 建築面積：483.11㎡（延長138m、通路幅3.5m）
- 構造：プレキャスト鉄筋コンクリート造  
平屋建て（屋根部鉄骨造）
- 総工費：1億7千万円
- 工事期間：平成16年1月～17年1月

### 事業の効果

本施設整備後、客船利用者は、風雨にさらされることなく待機・乗船ができるようになり、整備効果への利用者、地元からの評価は高い。また、乗降客用の通路が確保されたことにより、荷役の効率化及び乗降客の安全性の確保が図ることができた。

### 島民とのパートナーシップ

計画、設計の段階では、魅力ある『島のみなとまちづくり』事業のリーディングケースとして、島民とのパートナーシップによる景観・意匠・利用計画を行い、地元参加のもとに事業を進めた。

- ・地元（大島）利用者と連携した施設計画の検討
- ・色彩計画の地元決定
- ・施設名称の地元公募
- ・地元住民によるイベント開催など他の利用への検討

### ユニバーサルデザイン

本施設では、ハートビル法、交通バリアフリー法



全景

及び福祉のまちづくり条例に対応し、誘導ブロック、点字付手摺りの設置、床面の防滑仕様などを実施し、ユニバーサルデザインによる人にやさしい施設づくりを目指した。

### 施工の効率化・円滑化

島での施工は気象、海象に大きく影響されるため、これを回避するべく柱・壁材のPC化など、工場部品化を図り、現地では組み立て作業のみとすることで、現場作業の簡素化、迅速化による施工の合理化を図った。また、現地作業を簡素化したことにより、施工中の塩害劣化防止や岸壁での通常利用を損なわない施工を可能にした。

### 景観への配慮

地元（大島）と連携し、大島の玄関口として、観光を支える快適な空間の創造を目指した。

- ・色彩計画：夏の汐風、海、雲をイメージさせる青色を地元にて決定
- ・床仕上材料：地元大島三原山産出の火山砂利を舗装材料として採用
- ・照明：屋根膜材を照らす間接照明による夜間の景観効果の演出

### ライフサイクルコストの低減

大島岡田港特有の環境条件を克服することで、ライフサイクルコストを低減を目指した。

- ・冬季の北東卓越風対策：風雨を防ぐシェルター機能（防波堤側を壁付とする）
- ・台風時の強風対策：風速60m/秒での速度圧対応
- ・夏場の熱射対策：高い開放性：海側はPC柱のみの開放型とし、風通しの確保とフッ素樹脂膜屋根材による紫外線遮断。
- ・塩害対策：プレキャスト鉄筋コンクリート構造鉄骨部溶融亜鉛メッキ+フッ素樹脂塗装

### おわりに

岸壁でのシェルター機能を確保することに加え、島民とのパートナーシップによる景観・意匠・利用計画の検討、さらに、島特有の厳しい環境条件の克服を経て、大島岡田港で『汐風プロムナード』の整備を行うことができた。

本施設は利用者、地元からの評価が高いばかりでなく、朝市や地元住民によるイベント開催など、港の活性化を図る施設としてさまざまな検討もなされており、その役割が強く期待されている。

東京都では、今後、他の島でも同様の施設を整備していく予定である。